



2019

京都大学 大学院
工学研究科・工学部

概要





Aクラスター



Bクラスター



桂インテックセンター

1. 理念・アドミッションポリシー	02・03
2. ディプロマ・ポリシー	04・05
3. 沿革	06
4. 組織図	07
5. 大学院の専攻別講座等名、学部学科別学科目名	08
6. 2019年度役職者一覧	09
7. 教職員数	10
8. 学生数	11
9. 2019年度入学状況	12
10. 卒業・修了状況及び学位授与者数	13
11. 研究生、外国人留学生、招へい外国人学者及び部局間協定一覧	14～16
12. 教育・研究プロジェクト等	17
13. 工学部公開講座・オープンセミナー	18
14. 図書関係	19
15. 予算関係及び建物面積	20
16. アクセスマップ	21



百周年時計台記念館



総合研究15号館(旧建築学教室本館)



工学部物理系校舎

工学研究科の理念・目的

工学は、真理を探究し、その真理を核として人類の生活に直接・間接に関与する科学技術を創造する役割を担っており、地球社会の持続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っています。京都大学大学院工学研究科は、この認識のもとで、学問の基礎や原理を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性・責任感を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。

工学部が望む学生像

京都大学工学部の教育の特徴は、京都大学の伝統である「自由の学風」の下で、「学問の基礎を重視する」ところにあります。「自由の学風」とは、既成概念にとらわれず、物事の本質を自分の目でしっかりと見るということです。そこでは、学問に対する厳しさが要求され、それが、「学問の基礎を重視する」ことにつながります。一般的には「工学部は応用を主体とする学部である」と考えられています。「基礎を重視する」と言いますと、やや異質な印象を持たれるかもしれません。しかし、京都大学工学部では、「基礎となる学理をしっかりと学んでおくことが、将来の幅広い応用展開や技術の発展を可能とするための必須条件である」という理念の下に、この教育方針を採っています。



このような方針の教育を受けてもらうために、次のような入学者を求めています。

- 高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
- 既成概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと確かめ、得られた情報や知識を整理統合し論理的に考察することによって、物事の本質を理解しようとする人。
- 日本語・外国語を問わず、自らの意見や主張をわかりやすく発信する能力を身に着けるために必須の基礎的な言語能力とコミュニケーション能力を持った人。
- 創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティーに満ちた人。

入学者選抜では、大学入試センター試験に加えて、数学・理科・英語・国語の基礎学力の評価に重点を置いて、個別学力検査および特色入試を実施し、上述の観点から多様な人材を評価・選抜しています。

なお、特色入試では、上記の基礎学力に加えて、特筆すべき理系の能力、および、責任感と倫理性を併せ持った人材を求めています。また、学科の求める学生像に応じて、調査書、推薦書、顕著な活動実績の概要、学びの設計書、大学入試センター試験の成績、口頭試問の中から必要項目を選択・組み合わせて、人物を評価しています。評価方法の比重等詳細については、募集要項に明記しています。



工学研究科（修士課程）が望む学生像

工学研究科修士課程では、次のような入学者を求めます。

- 工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを実現しようとする意欲を有する人。
- 専門分野とこれに関連する諸分野において真理を探究するために必要な基礎知識を有し、それを踏まえた論理的思考と既存概念にとらわれない判断力を有する人。
- 科学技術および社会の諸課題について、知識を総合しその解決に取り組む中で創造的に新しい科学技術の世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。
- 他者の意見を理解し、自らの意見や主張をわかりやすく表明できるコミュニケーションの基礎的能力を持った人。



入学者選抜では、個別学力検査を実施し、学修を希望する専門分野の基礎的知識とそれを踏まえた論理的な思考能力に重点をおきつつ、英語の能力も含めて評価・選抜しています。
なお、各評価方法等の詳細については、募集要項に明記しています。

工学研究科（博士後期課程）が望む学生像

工学研究科博士後期課程では、次のような入学者を求めます。

- 工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを実現しようとする意欲を有する人。
- 専門分野とこれに関連する諸分野において真理を探究するために豊かな基礎知識を有し、それを踏まえた論理的思考と既存概念にとらわれない優れた判断力を有する人。
- 科学技術および社会の諸課題について、豊かな知識を総合しその解決に取り組む中で創造的に新しい科学技術の世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。
- 他者の意見を理解し、自らの意見や主張をわかりやすく表明できる高いコミュニケーション能力を持った人。



入学者選抜では、個別学力検査を実施し、学修を希望する専門分野の基礎的知識とそれを踏まえた論理的な思考能力に重点をおきつつ、英語の能力も含めて評価・選抜しています。前述の観点に加えて、口頭試問等により研究を推進・展開できる能力および論理的に説明できる能力の評価も加えて選抜します。

なお、各評価方法等の詳細については、募集要項に明記しています。

2. ディプロマ・ポリシー

● 学士

京都大学工学部は、定められた年限在学し、所定の単位の修得、および特別研究(卒業研究)の遂行を通し、研究者や技術者として、強い責任感と高い倫理性を持ち、次に示す知識と能力の発揮により社会に貢献できると認める者に、学士の学位を授与します。

- 人・社会や自然に関する科学的知識、および、それに基づく公共に関する理解力、豊かな人間性、世界的視野で物事を見ることのできる能力。
- 専門分野における基盤知識、および、それを踏まえた論理的思考能力。
- 科学技術に関する諸課題について、知識を総合し、合理的に解決方法を考えることができる能力。
- 他者の意見を理解し、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力。



● 修士

京都大学大学院工学研究科は、学問の基礎や原理を重視して環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性・責任感を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。修士課程では、広い学識と国際性を修得させ、自ら課題を発見し解決する能力を有する高度技術者、研究者の育成をめざします。

上記のような人材育成の目標のもと、次の条件を満たした者に修士(工学)の学位を授与します。

所定の期間在学し、本研究科の目標に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位数(30単位)以上を修得するとともに修士論文の審査及び試験に合格することが、修士(工学)の学位授与の必要条件です。

修士課程の修了は、修士学位申請者が提出した修士論文が工学研究の学術的意義、新規性、創造性、応用的価値を有しているかどうか、修士学位申請者が研究の推進能力、研究成果の論理的説明能力、研究分野に関連する幅広い専門的知識、学術研究における倫理性と責任感を有しているかどうか等を基に認定されます。

なお、学修・研究について著しい進展が認められる者については、在学期間を短縮して修士課程を修了することができます。

● 博士

京都大学大学院工学研究科は、学問の基礎や原理を重視して環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性・責任感を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。博士後期課程では、研究を通じた教育や実践的教育を介して、新しい研究分野を国際的に先導することのできる技術者、研究者の育成をめざします。

上記のような人材育成の目標のもと、次の条件を満たした者に博士（工学）の学位を授与します。

所定の期間在学し、本研究科の目標に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位数（10単位）以上を修得するとともに博士論文の審査及び試験に合格することが、博士（工学）の学位授与の必要条件です。

博士後期課程の修了は、博士学位申請者が提出した博士論文が研究の学術的意義、新規性、創造性、応用的価値を有しているかどうか、博士学位申請者が研究企画・推進能力、研究成果の論理的説明能力、研究分野に関連する高度で幅広い専門的知識、学術研究における高い倫理性と責任感を有しているかどうか等を基に認定されます。

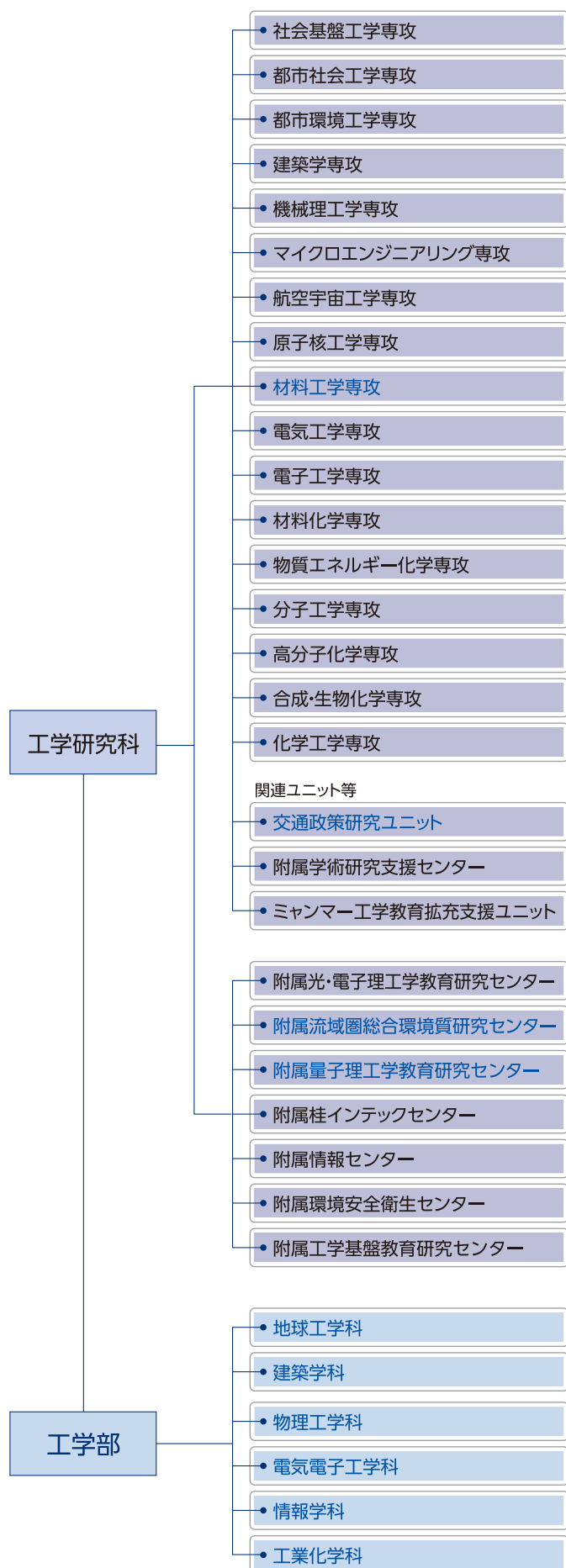
なお、学修・研究について著しい進展が認められる者については、在学期間を短縮して博士後期課程を修了することができます。



3. 沿革

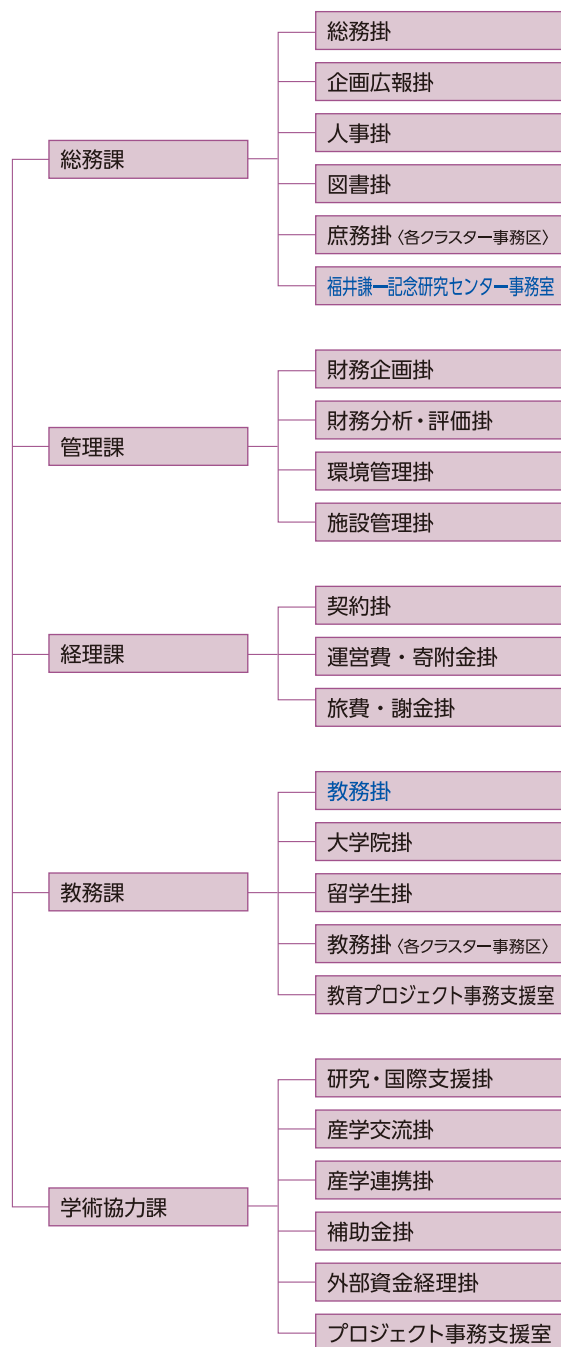
明治 30.	6	京都帝国大学設置
	9	理工科大学開設
		土木工学科、機械工学科設置
31.	9	電気工学、採鉱冶金学、製造化学の3学科設置
大正 3.	7	理工科大学を理科大学と工科大学に分離
	9	土木・機械・電気・採鉱冶金・工業化学科を設置
8.	2	工科大学は工学部となる
9.	8	建築学科設置
昭和 14.	3	燃料化学科設置
15.	4	化学機械学科設置
16.	3	繊維化学科設置
17.	3	採鉱冶金学科を鉱山学科と冶金学科に分離、航空工学科設置
21.	1	航空工学科廃止、応用物理学科設置
22.	9	京都帝国大学が京都大学と改称
24.	5	新制京都大学設置
28.	4	大学院工学研究科設置
29.	4	電子工学科設置
30.	4	応用物理学科を航空工学科に改称
32.	4	大学院工学研究科原子核工学専攻設置
33.	4	原子核工学科、衛生工学科設置
34.	4	オートメーション研究施設、数理工学科設置
35.	4	精密工学科、合成化学科設置
36.	4	電気工学第二学科、金属加工学科、電離層研究施設設置
		繊維化学科を高分子化学科、化学機械学科を化学工学科に改組、改称
37.	4	機械工学第二学科設置
38.	4	交通土木工学科設置
39.	4	建築学第二学科設置、鉱山学科を資源工学科に改称
41.	4	超高温プラズマ研究施設設置
		燃料化学科を石油化学科に改組、改称
45.	4	情報工学科設置
50.	4	機械工学第二学科を物理工学科に改組、改称
51.	5	超高温プラズマ研究施設が京都大学ヘリオトロン核融合研究センターとして発足
53.	4	イオン工学実験施設設置
56.	4	電離層研究施設が京都大学超高層電波研究センターとして発足
58.	4	分子工学専攻設置
60.	4	環境微量汚染制御実験施設設置
61.	4	重質炭素資源転換工学実験施設設置
62.	5	応用システム科学専攻設置
平成 元.	5	オートメーション研究施設廃止、高度情報開発実験施設設置
3.	4	環境地球工学専攻設置
4.	4	メゾ材料研究センター設置
5.	4	化学系の改組 学部の5学科（工業化学、石油化学、化学工学、高分子化学、合成化学）を工業化学科に、研究科の5専攻（学科に同じ）と分子工学専攻を材料化学、物質エネルギー化学、分子工学、高分子化学、合成・生物化学、化学工学の6専攻に改組
6.	6	物理系の改組 学部の7学科（機械工学、冶金学、航空工学、原子核工学、精密工学、金属加工学、物理学）を物理工学科に、研究科の7専攻（学科に同じ）を、機械工学、機械物理学、精密工学、エネルギー応用工学、原子核工学、材料工学、航空宇宙工学の7専攻に改組
7.	4	電気系及び情報系の改組 学部の、電気工学科、電子工学科、電気工学第二学科の3学科を電気電子工学科に、数理工学科及び情報工学科の2学科を情報学科に、研究科の6専攻（電気工学、電子工学、電気工学第二、数理工学、情報工学、応用システム科学）を電気工学専攻、電子物性工学専攻、電子通信工学専攻、数理工学専攻、情報工学専攻、応用システム科学専攻に各々改組 環境微量汚染制御実験施設を環境質制御研究センターに名称変更
8.	4	土木系及び建築系の改組 学部の、土木工学科、衛生工学科、交通土木工学科、資源工学科の4科を地球工学科に、建築学科及び建築学第二学科の2学科を建築学科に改組また、研究科の7専攻（土木工学、衛生工学、交通土木工学、

		資源工学、建築学、建築学第二、環境地球工学）を土木工学専攻、環境工学専攻、土木システム工学専攻、資源工学専攻、建築学専攻、生活空間学専攻、環境地球工学専攻に各々改組し、大学院重点化を完了 エネルギー科学研究科の新設に伴い、エネルギー応用工学専攻を廃止 附属重質炭素資源転換工学実験施設の廃止
9.	4	高度情報実験施設は、総合情報メディアセンターへの統合により廃止
10.	4	情報学研究科の新設に伴い、電子通信工学専攻、数理工学専攻、情報工学専攻及び応用システム科学専攻を廃止 附属イオン工学実験施設、附属メゾ材料研究センター及び附属環境質制御研究センターが、学部附属施設から研究科附属施設に転換
11.	4	附属量子理工学研究実験センター設置
13.	4	附属桂インテックセンター設置
14.	3	附属メゾ材料研究センター廃止
	4	附属情報センター設置
15.	4	地球系及び建築系の改組、並びに電気系の名称変更 研究科の5専攻（土木工学、土木システム、資源工学、環境工学、環境地球工学）を社会基盤工学、都市社会学、都市環境工学の3専攻に改組また、生活空間学専攻を廃止し、電子物性工学専攻を電子工学専攻に名称変更
	10	桂キャンパス開学 電気工学、電子工学、材料化学、物質エネルギー化学、分子工学、高分子化学、合成・生物化学、化学工学の8専攻及び附属イオン工学実験施設が、桂キャンパスAクラスターへ移転
16.	4	附属環境安全衛生センター設置
10		事務部が桂キャンパスBクラスターへ、建築学専攻がCクラスターへ移転
17.	4	研究科の4専攻（機械工学、機械物理学、精密工学、航空宇宙工学）を機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学の3専攻に改組 附属環境質制御研究センターを附属流域圏総合環境質研究センターに改組
	10	寄附講座「日中環境技術研究講座」設置（～H20.9）
18.	10	社会基盤工学、都市社会学、都市環境工学の3専攻が桂キャンパスCクラスターへ移転
19.	4	附属イオン工学実験施設を改組し、附属光・電子理工学教育研究センターを設置
	5	寄附講座「エネルギー資源開発工学（JAPEX）講座」設置（～H24.3）
	12	附属グローバルリーダースhip大学院工学教育推進センター設置
20.	4	寄附講座「社会基盤安全工学（JR西日本）講座」設置（～H25.3）
	7	寄附講座「先端電池基礎講座」設置（～H26.3）
21.	4	寄附講座「先進交通ロジスティクス工学（阪神高速道路）講座」設置（～H24.3） 附属量子理工学研究実験センターを附属量子理工学教育研究センターに改組
	11	低炭素都市圏政策ユニット設置
22.	4	安寧の都市ユニット設置（～H27.3）
24.	12	附属学術研究支援センター設置
25.	3	機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学、原子核工学の4専攻が桂キャンパスCクラスターへ移転
	4	寄附講座「災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座」設置
	9	ミャンマー工学教育拡充支援ユニット設置
26.	4	「インフラ先端技術共同研究講座」設置
	5	低炭素都市圏政策ユニットを交通政策研究ユニットに改組
27.	4	「PCFC共同研究講座」設置
28.	6	「フロー型エネルギー貯蔵研究講座」設置
29.	4	寄附講座「非鉄製錬学講座」設置 寄附講座「優しい地球環境を実現する先端電気機器工学講座」設置
30.	4	附属グローバルリーダースhip大学院工学教育推進センターを附属工学基盤教育研究センターに改組 「インフラ先端技術産学共同講座（旧：インフラ先端技術共同研究講座）」設置（更新） 「プロトニックセラミックス産学共同講座（旧：PCFC共同研究講座）」設置（更新）
31.	4	「進化型機械システム技術産学共同講座（三菱電機）」設置 「フロー型エネルギー貯蔵研究講座」設置（更新） 「プロトニックセラミックス産学共同講座」設置（更新） 寄附講座「災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座」設置（更新）



黒字：桂地区 青字：吉田地区等

桂地区（工学研究科）事務部



黒字：桂地区 青字：吉田地区等

5. 大学院の専攻別講座等名、学部の学科別学科目名

1. 大学院の専攻別講座等名

大学院	専攻	講座
工学研究科 17 専攻 83 講座	社会基盤工学専攻	応用力学、資源工学、構造工学、水工学、地盤力学、空間情報学、都市基盤設計学
	都市社会工学専攻	都市社会計画学、交通マネジメント工学、地震ライフライン工学、構造物マネジメント工学、河川流域マネジメント工学、ジオマネジメント工学、都市基盤システム工学、地球資源学
	都市環境工学専攻	環境デザイン工学、環境システム工学、環境衛生学
	建築学専攻	建築保全再生学、人間生活環境学、建築史学、建築構法学、建築環境計画学、建築設計学、建築構造学、建築生産工学、都市空間工学、居住空間学、環境材料学、環境構成学
	機械理工学専攻	機械システム創成学、生産システム工学、機械材料力学、流体理工学、物性工学、機械力学、バイオエンジニアリング
	マイクロエンジニアリング専攻	構造材料強度学、ナノシステム創成工学、ナノサイエンス、マイクロシステム創成
	航空宇宙工学専攻	航空宇宙力学、航空宇宙基礎工学、航空宇宙システム工学
	原子核工学専攻	量子ビーム科学、量子物質工学、核エネルギー工学
	材料工学専攻	材料設計工学、材料プロセス工学、先端材料物性学、材料物性学、先端材料機能学、材料機能学
	電気工学専攻	先端電気システム論、システム基礎論、生体医工学、電磁工学
	電子工学専攻	集積機能工学、電子物理工学、電子物性工学、量子機能工学
	材料化学専攻	機能材料設計学、無機材料化学、有機材料化学、高分子材料化学、ナノマテリアル
	物質エネルギー化学専攻	エネルギー変換化学、基礎エネルギー化学、基礎物質化学、触媒科学
	分子工学専攻	生体分子機能化学、分子理論化学、量子機能化学、応用反応化学
	高分子化学専攻	先端機能高分子、高分子合成、高分子物性
	合成・生物化学専攻	有機設計学、合成化学、生物化学
	化学工学専攻	環境プロセス工学、化学工学基礎、化学システム工学

附属教育研究 施設等	光・電子理工学教育研究センター	平成 19 年 4 月開設	京都市西京区京都大学桂
	流域圏総合環境質研究センター	平成 17 年 4 月開設	大津市由美浜 1 の 2
	量子理工学教育研究センター	平成 21 年 4 月開設	宇治市五ヶ庄
	桂インテックセンター	平成 13 年 4 月開設	京都市西京区京都大学桂
	情報センター	平成 14 年 5 月開設	京都市西京区京都大学桂
	環境安全衛生センター	平成 16 年 4 月開設	京都市西京区京都大学桂
	工学基盤教育研究センター	平成 30 年 4 月開設	京都市西京区京都大学桂
	交通政策研究ユニット	平成 26 年 5 月開設	京都市西京区京都大学桂
	学術研究支援センター	平成 24 年 12 月開設	京都市西京区御陵大原 1 の 30
	マンマエ工学教育拡充支援ユニット	平成 25 年 9 月開設	京都市西京区京都大学桂

2. 学部の学科別学科目名

学部	学科	学科目
工学部 6 学科 15 学科目	地球工学科	土木工学、環境工学、資源工学
	建築学科	建築学
	物理工学科	機械システム学、材料科学、エネルギー応用工学、原子核工学、宇宙基礎工学
	電気電子工学科	電気電子工学
	情報学科	計算機科学、数理工学
	工業化学科	創成化学、工業基礎化学、化学プロセス工学

工学研究科長・工学部長、副理事	
	大 嶋 正 裕
副研究科長	
教育研究評議会評議員	米 田 稔
教育研究評議会評議員	鈴 木 基 史
	西 山 峰 広
	横 峯 健 彦
	竹 内 繁 樹
	関 修 平
研究科長補佐	
	松原 英一郎
専攻長	
社会基盤工学専攻	杉 浦 邦 征
都市社会工学専攻	岸 田 潔
都市環境工学専攻	伊 藤 禎 彦
建築学専攻	金 多 隆
機械理工学専攻	小 森 雅 晴
マイクロエンジニアリング専攻	松 原 厚
航空宇宙工学専攻	藤 本 健 治
原子核工学専攻	神 野 郁 夫
材料工学専攻	乾 晴 行
電気工学専攻	萩 原 朋 道
電子工学専攻	木 本 恒 暢
材料化学専攻	藤 田 晃 司
物質エネルギー化学専攻	近 藤 輝 幸
分子工学専攻	白 川 昌 宏
高分子化学専攻	大 内 誠
合成・生物化学専攻	濱 地 格
化学工学専攻	佐 野 紀 彰
施設長	
附属光・電子理工学教育研究センター	野 田 進
附属流域圏総合環境質研究センター	田 中 宏 明
附属量子理工学教育研究センター	高 木 郁 二
附属桂インテックセンター	鈴 木 基 史
附属情報センター	松 尾 哲 司
附属環境安全衛生センター	前 一 廣
附属工学基盤教育研究センター	横 峯 健 彦

学科長	
地球工学科	三 ヶ 田 均
建築学科	富 島 義 幸
物理工学科	高 木 郁 二
電気電子工学科	和 田 修 己
情報学科	山 下 信 雄
工業化学科	村 上 正 浩
事務部	
事務部長	塚 上 公 昭
総務課長	岡 田 幸 美
課長補佐	松 尾 由 美
管理課長	佐 賀 祐 次 郎
課長補佐	江 竜 直 人
課長補佐	足 立 融 正
経理課長	山 本 誠
教務課長	幣 真 由 美
課長補佐	横 井 邦 夫
課長補佐	嶋 村 智
学術協力課長	森 下 直 也
課長補佐	浴 田 富 美 代



福利・保健管理棟とロンドンダ

7. 教職員数

教員

(黒字: 桂地区、青字: 吉田地区等) 2019年5月1日現在

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
社会基盤工学専攻	12 (2)	12 (2)	2	9 (1)	35 (5)
都市社会工学専攻	8 (2)	13 (1)		9	30 (3)
都市環境工学専攻	3 (1)	5 (1)	1	5 (1)	14 (3)
建築学専攻	15	11		6	32
機械理工学専攻	14	9	3	11	37
マイクロエンジニアリング専攻	4	4	2	4	14
航空宇宙工学専攻	7	2 (1)	3	5	17 (1)
原子核工学専攻	5	5	2	3	15
材料工学専攻	10	14	1	10	35
電気工学専攻	8	3 (1)	2	6	19 (1)
電子工学専攻	6	8		7	21
材料化学専攻	6 (1)	5	1	7	19 (1)
物質エネルギー化学専攻	7 (1)	7 (1)	1	5	20 (2)
分子工学専攻	5	5	1	6	17
高分子化学専攻	6	6	1	9	22
合成・生物化学専攻	8	7	2	11	28
化学工学専攻	8	6	2	8	24
附属光・電子理工学教育研究センター	1		1	1	3
附属流域圏総合環境質研究センター	2	1	1	2	6
附属量子理工学教育研究センター		2			2
附属桂インテックセンター					0
附属情報センター			[2]		[2]
附属環境安全衛生センター		[1]	[1]		[2]
附属工学基盤教育研究センター			6		6
合 計	135 (7)	125 (7) [1]	32 [3]	124 (2)	416 (16) [4]
桂 地 区 合 計	123 (7)	108 (7) [1]	30 [3]	112 (2)	373 (16) [4]
吉田地区等 合 計	12	17	2	12	43

注1: 表中の () 内は大学院地球環境学、大学院経営管理研究部、国際高等教育院の流動教員で外数 注2: 表中の [] 内は兼務教員で外数

職員

(黒字: 桂地区、青字: 吉田地区等) 2019年5月1日現在

区 分	事務職員	教務・技術職員	合 計
社会基盤工学専攻		3	
都市社会工学専攻		2	
都市環境工学専攻		2	
建築学専攻		2	
機械理工学専攻		5	
マイクロエンジニアリング専攻		1	
航空宇宙工学専攻			
原子核工学専攻		2	
地球工学科	地球工学科事務室	3	3
建築学科	建築学科事務室	2	2
材料工学専攻		4	4
物理工学科	物理工学科事務室	4	4
電気工学専攻			
電子工学専攻			
材料化学専攻			
物質エネルギー化学専攻		2	
分子工学専攻		1	
高分子化学専攻		1	
合成・生物化学専攻		3	
化学工学専攻		1	
電気電子工学科	電気電子工学科事務室	3	3
工業化学科	工業化学科事務室	3	3
情報学科		1	1
附属桂インテックセンター		2	2
附属情報センター		3	3
附属環境安全衛生センター		4	4
	事務室: 桂	64	68
	事務室: 吉田	7	8
合 計		118	162
桂 地 区 合 計		96	134
吉田地区等 合 計		22	28

1. 大学院

(黒字: 桂地区、青字: 吉田地区等) 2019年5月1日現在

専攻 区 分	修士課程		博士後期課程						合 計	
	1 年次	2 年次	1 年次		2 年次		3 年次			
			4 月入学	10 月入学	4 月入学	10 月入学	4 月入学	10 月入学	4 月入学	10 月入学
社会基盤工学	82	85(1)	17	10	7	4	9	5	199	20
都市社会工学	62(1)	71	6	6	18	6	16	10	172	23
都市環境工学	40(1)	39(1)	4	8	6	6	13	11	100	27
建築学	76	92	11	6	7	1	17	4	203	11
機械理工学	60	67	13	4	7	4	12	3	159	11
マイクロエンジニアリング	29	31	4	3	3	1	4		71	4
航空宇宙工学	22	29	5	2	3		4		63	2
原子核工学	27	23	7	1	6		10		73	1
材料工学	38	46	8	7	9	3	7	2	108	12
電気工学	44	45	6	1	9	1	7	3	111	5
電子工学	30	30	6	1	7		9	1	82	2
材料化学	32	33	3		4	1	5		77	1
物質エネルギー化学	38	39	12	1	6	2	7	2	102	5
分子工学	35	37	8	1	7		11		98	1
高分子化学	49	45	3		10		11	1	118	1
合成・生物化学	34	35	7	1	5		6	2	87	3
化学工学	40	46	2	2	2	1	4	1	94	4
合 計	738(2)	793(2)	122	54	116	30	152	45	1,917	133
桂 地 区 合 計	700(2)	747(2)	114	47	107	27	145	43	1,809	121
吉田地区等 合 計	38	46	8	7	9	3	7	2	108	12

注: 表中の () 内は 10 月入学者数で内数

2. 学部

2019年5月1日現在

学 科	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合 計
地球工学	191	191	181	248	811
建築学	83	81	83	95	342
物理工学	243	243	240	312	1,038
電気電子工学	134	135	137	170	576
情報学	93	95	93	141	422
工業化学	244	242	241	306	1,033
合 計	988	987	975	1,272	4,222



Aクラスターと桂キャンパス銘板



Cクラスター C3棟

9. 2019 年度入学状況

1. 大学院

修士課程			
専攻	入学定員	入学志願者	入学者数
社会基盤工学	58	138 [37]	65 [17]
都市社会工学	57		53 [9]
都市環境工学	36	31 [11]	30 [10]
建築学	75	83 [5]	72 [4]
機械理工学	59	150 [10]	58 [2]
マイクロエンジニアリング	30		27 [2]
航空宇宙工学	24		22
原子核工学	23	32 [1]	26 [1]
材料工学	38	45 [3]	35 [3]
電気工学	38	78 [16]	35 [9]
電子工学	35		27 [3]
材料化学	29	194 [28]	32
物質エネルギー化学	39		34 [4]
分子工学	35		31 [4]
高分子化学	46		44 [5]
合成・生物化学	32	41 [3]	31 [3]
化学工学	34		39 [1]
合 計	688	792 [114]	661 [77]

注：表中の〔 〕内は外国人留学生で外数

博士後期課程			
専攻	入学定員	入学志願者	入学者数
社会基盤工学	17	16 (9) [13]	16 (9) [11]
都市社会工学	17	4 (4) [10]	4 (4) [8]
都市環境工学	10	1 [11]	1 [11]
建築学	22	15 (8) [4]	13 (8) [4]
機械理工学	16	11 (5) [7]	11 (5) [6]
マイクロエンジニアリング	7	4 (1) [3]	4 (1) [3]
航空宇宙工学	7	5 (2) [2]	5 (2) [2]
原子核工学	9	7 [2]	6 [2]
材料工学	10	9 (3) [7]	9 (3) [6]
電気工学	10	4 [3]	4 [3]
電子工学	10	5 [2]	5 [2]
材料化学	9	2 [1]	2 [1]
物質エネルギー化学	11	8 (2) [6]	8 (2) [5]
分子工学	10	8 (1) [3]	6 (1) [3]
高分子化学	15	2 [1]	2 [1]
合成・生物化学	10	5 [4]	5 [3]
化学工学	7	[4]	[4]
合 計	197	106 (35) [83]	101 (35) [75]

注 1：表中の（ ）内は社会人特別選抜で内数、〔 〕内は外国人留学生で外数

注 2：2018 年度 10 月期入学志願者数・入学者数と 2019 年度 4 月期入学志願者数・入学者数の合計



Aクラスター 学生ラウンジ



生物実験室



Cクラスター テラス



化学系図書室

2. 学部

注 1：表中の（ ）内は外国人留学生で内数 注 2：入学志願者は第 1 志望学科

学 科	入学定員	入学志願者	入学者数		
			男	女	計
地球工学	185	356(30)	163(6)	15(7)	178(13)
建築学	80	296(14)	57(1)	24(1)	81(2)
物理工学	235	769(21)	224(4)	12(3)	236(7)
電気電子工学	130	382(14)	129(2)	3(0)	132(2)
情報学	90	405(20)	90(2)	1(0)	91(2)
工業化学	235	416(20)	205(4)	30(5)	235(9)
合 計	955	2,624(119)	868(19)	85(16)	953(35)

10. 卒業・修了状況及び学位授与者数

1. 大学院修了者数（専攻別）

専攻	区 分		博士後期課程 令和元年5月1日現在 研究指導認定退学者累計
	平成30年度	累 計	
工業化学		1,263	212
石油化学		758	137
合成化学		582	157
機械工学		1,154	78
物理工学		462	38
機械物理工学		212	6
精密工学		860	56
冶金学		634	47
金属加工学		567	43
エネルギー応用工学		57	2
航空工学		388	32
電子物性工学		227	15
電気工学第二		730	67
電子通信工学		110	2
数理工学		785	84
情報工学		508	44
応用システム科学		342	10
土木工学		1,996	143
交通土木工学		598	14
土木システム工学		240	23
資源工学		681	40
衛生工学		620	54
環境工学		205	8
環境地球工学		501	30
建築学第二		514	51
生活空間学		159	17
材料化学	32	680	37
物質エネルギー化学	41	893	60
分子工学	30	971	65
高分子化学	50	2,042	290
合成・生物化学	30	739	79
化学工学	36	1,518	128
原子核工学	19	1,162	154
材料工学	40	887	21
電気工学	40	1,517	105
電子工学	29	1,325	99
建築学	70	2,182	185
社会基盤工学	84	900	46
都市社会工学	59	825	40
都市環境工学	41	876	50
機械理工学	57	741	25
マイクロエンジニアリング	27	333	21
航空宇宙工学	23	467	27
合 計	708	33,211	2,842

2. 博士学位授与者数

2019年5月1日現在

区 分		工学博士
旧制	大正9年6月以前の学位令によるもの	42 (28)
	大正9年7月以降の学位令によるもの	1,338
新制	大学院博士課程修了者	4,617
	論文提出によるもの	4,179
合 計		10,176 (28)

注：表中の（ ）内は推薦によるもので内数

3. 学部卒業生数（学科別）

学 科	年 度	昭和27年度～ 平成29年度	平成30年度	累 計
土木工学		3,222		3,222
機械工学		2,122		2,122
電気工学		2,112		2,112
鉱山学		357		357
資源工学		1,073		1,073
冶金学		1,532		1,532
工業化学		2,125		2,125
建築学		2,207		2,207
燃料化学		443		443
石油化学		1,296		1,296
化学機械学		295		295
化学工学		1,244		1,244
高分子化学		1,225		1,225
繊維化学		250		250
応用物理学		116		116
電子工学		1,606		1,606
航空工学		810		810
原子核工学		714		714
衛生工学		1,390		1,390
数理工学		1,448		1,448
精密工学		1,379		1,379
合成化学		1,259		1,259
電気工学第二		1,447		1,447
金属加工学		1,220		1,220
機械工学第二		505		505
交通土木工学		1,284		1,284
建築学第二		1,149		1,149
情報工学		1,037		1,037
物理工学		480		480
(新) 工業化学		5,070	241	5,311
(新) 物理工学		4,904	237	5,141
電気電子工学		2,629	139	2,768
情報学		1,755	99	1,854
地球工学		3,540	182	3,722
(新) 建築学		1,567	85	1,652
合 計		54,812	983	55,795

11. 研究生、外国人留学生、招へい外国人学者及び部局間協定一覧

1. 研究生等受入れ状況

2019年5月1日現在

区 分	研究生	研修員	特別聴講 学 生	特別研究 学 生	短期交流 学 生	合 計
専攻・学科						
社会基盤工学	4(3)			1		5(3)
都市社会学			1(1)			1(1)
都市環境工学						0(0)
建築学	4(3)		4(4)	2(2)		10(9)
機械理工学	3(3)	2		4(4)		9(7)
マイクロエンジニアリング		1			1(1)	2(1)
航空宇宙工学	1(1)			1(1)	1(1)	3(3)
原子核工学						0(0)
材料工学						0(0)
電気工学		3				3(0)
電子工学			3(3)			3(3)
材料化学	1					1(0)
物質エネルギー化学	1(1)			2(1)		3(2)
分子工学	1(1)					1(1)
高分子化学				2(1)		2(1)
合成・生物化学						0(0)
化学工学	4(4)			1(1)		5(5)
地球工学科			4(4)			4(4)
建築学科			3(3)		1(1)	4(4)
物理工学科			4(4)			4(4)
電気電子工学科			1(1)			1(1)
情報学科			8(8)			8(8)
工業化学科			2(2)		7(7)	9(9)
合 計	19(16)	6	30(30)	13(10)	10(10)	78(66)

注1：表中の（ ）内は外国人で内数

注2：研修員は受託研究員を含む

2. 外国人留学生国別一覧

2019年5月1日現在

地域・国名等	学 部	大学院		合 計
		修士課程	博士後期課程	
アジア (22)				
インド	3	1	9	13
インドネシア共和国	6	4	13	23
カザフスタン共和国			1	1
大韓民国	23	18	23	64
カンボジア王国		2	1	3
キルギス共和国		1		1
シンガポール共和国	1			1
スリランカ民主社会主義共和国	1			1
タイ王国	7	3	12	22
台湾		3	6	9
中華人民共和国	92	110	95	297
香港		1		1
ネパール連邦民主共和国		2	3	5
パキスタン・イスラム共和国		1	1	2
バーレーン王国			1	1
バングラデシュ人民共和国		1	2	3
フィリピン共和国	1	1	2	4
ベトナム社会主義共和国	2	3	6	11
マカオ		1		1
マレーシア	1	1	5	7
ミャンマー連邦共和国	1	2	9	12
モンゴル国	2			2
中東 (3)				
イラン・イスラム共和国	1	2	3	6
オマーン国		3		3
トルコ共和国	1		2	3
アフリカ (8)				
ウガンダ共和国		1		1
エジプト・アラブ共和国	5	1	1	7
ケニア共和国		1		1
コンゴ民主共和国		1		1
ジンバブエ共和国		1		1
セネガル共和国		1		1
チュニジア共和国		1		1
リベリア共和国		1		1
大洋州 (1)				
フィジー共和国		1		1
北米 (2)				
アメリカ合衆国		2	2	4
カナダ	1	2		3
中南米 (7)				
アルゼンチン共和国			1	1
コスタリカ共和国			1	1
コロンビア共和国			1	1
パナマ共和国			1	1
ブラジル連邦共和国	2	1	1	4
ペルー共和国		1	1	2
メキシコ合衆国		1		1
欧州 (NIS諸国を含む) (6)				
イタリア共和国			1	1
英国		1	1	2
ギリシャ共和国			1	1
フランス共和国			1	1
リトアニア共和国			1	1
ロシア連邦		1		1
合計 (49カ国・地域)	150	178	208	536



Cクラスター

■ 3. 外国人研究留学生等受入状況

2019年5月1日現在

区分 地域・国名等	研究生	特別聴講 学生	特別研究 学生	短期交流 学生	合計
アジア (7)					
大韓民国	1	3			4
カンボジア王国	1				1
シンガポール共和国		1			1
台湾	1		1		2
中華人民共和国	10	3	5	1	19
フィリピン共和国		1			1
香港	1	3			4
中東 (2)					
イスラエル国		1			1
トルコ共和国			1		1
大洋州 (1)					
オーストラリア連邦		3			3
北米 (2)					
アメリカ合衆国	1	2			3
カナダ				1	1
欧州 (NIS諸国を含む) (8)					
イタリア共和国		1			1
オランダ王国				1	1
スウェーデン王国		4			4
スペイン王国			1		1
ドイツ連邦共和国		4		1	5
フランス共和国	1	4		7	12
ポーランド共和国			1		1
ロシア連邦			1		1
合計 (20カ国)	16	30	10	11	67



ローム記念館



ローム記念館 館内

ローム記念館 大ホール

■ 4. 招へい外国人学者等受入者数

2018年度

区分 地域・国名等	招へい 外国人学者	外国人 共同研究者	外国人 研究員	合計
アジア (9)				
インド	2	2		4
インドネシア共和国	1			1
スリランカ民主社会主義共和国			1	1
タイ王国		1		1
大韓民国	2	4		6
台湾	2	4		6
中華人民共和国	9	14		23
ベトナム社会主義共和国	2			2
ミャンマー連邦共和国	1			1
アフリカ (3)				
エジプト・アラブ共和国	1	2		3
エチオピア連邦民主共和国		1		1
モザンビーク共和国		1		1
大洋州 (1)				
オーストラリア連邦	1			1
北米 (2)				
アメリカ合衆国	4	1	1	6
カナダ	1			1
中南米 (2)				
ウルグアイ東方共和国		1		1
メキシコ合衆国	1	1		2
欧州 (NIS諸国を含む) (10)				
イタリア共和国		1		1
英国		1		1
ギリシャ共和国		1		1
スイス連邦	1	2		3
スウェーデン王国		1		1
ドイツ連邦共和国	4	2		6
フランス共和国	1	1	1	3
ベラルーシ共和国		1		1
ポーランド共和国			1	1
ロシア連邦	2			2
合計 (27カ国・地域)	35	42	4	81



Aクラスター コミュニケーションスクエア

5. 部局間交流協定締結機関

2019年5月1日現在

地域・国名等	機 関 名	学術交流協定 締結年月日	学生交流協定 締結年月日
アジア (9)			
インド	国立学際科学技術研究所	2017. 5.24	
インドネシア共和国	ブラウィジャヤ大学 工学部・工学研究科 ムハマディア大学ジョグジャカルタ校	2017. 2. 6 2017.11.30	2017. 2. 6 2017.11.30
大韓民国	韓国科学技術院 工学部・工学研究科 慶熙大学校工学部	大学間 2016. 1. 7	2002.11. 4 2016. 1. 7
タイ王国	アジア工科大学 工業技術研究科等 キングモンクット工科大学トンブリ校 (エネルギー環境合同大学院大学 (JGSEE)) キングモンクット工科大学 ラカバン校 マヒドン大学工学部	大学間 2009.10.19 2009.11.24 大学間	2017. 6.16 2018. 5. 4
台湾	国立成功大学 工学院	2006.11.21	2013.11.26
中華人民共和国	大連理工大学 同済大学大学院 東南大学研究院 香港城市大学 理工学研究科 香港大学 工学部・工学研究科	2003. 7. 3 2005.12.31 2016. 3.31 2013. 1.22 2016. 9.30	2016. 3.31 2013.11.28
ベトナム社会主義共和国	ハノイ土木工科大学	2005.12.24	
マレーシア	マレーシア工科大学 建築都市環境学部等	2009.10.14	
ミャンマー連邦共和国	マンダレー工科大学	大学間	2017. 9. 7
アフリカ (1)			
エジプト・アラブ共和国	カイロアメリカン大学 理工学部、工学研究科	2017. 5.29	2017. 5.29
大洋州 (1)			
ニュージーランド	ウェリントン・ビクトリア大学 理学部・工学部・建築デザイン学部、 ロビンソン研究所、フェリエ研究所	2016. 9.23	2016. 9.23
北米 (2)			
アメリカ合衆国	ウィスコンシン大学 マディソン校 工学部 ワシントン大学 工学部 テキサス大学 オースティン校 工学部 レンスラー工科大学 工学部 フロリダ大学 教養学部・教養学研究科 ミシガン大学 工学部・工学研究科 (ドイツ・フライブルク大学を含めた3大学間協定) ニューヨーク・シティ大学 エネルギー研究所	1990. 8. 1 1991.10.15 1991.12. 1 1995. 1. 1 2004. 4.26 2007.10. 1 2010. 5.18	
カナダ	ウエスタンオンタリオ大学 工学部・理学部	2004. 6.23	
中南米 (1)			
ブラジル連邦共和国	サンパウロ大学 工学部・工学研究科	2004. 6.16	
欧州 (NIS 諸国を含む) (10)			
英国	バーミンガム大学 工学研究科等	2003.12. 5	
オランダ王国	デルフト工科大学	1998. 1. 1	
スイス連邦	スイス連邦工科大学 チューリッヒ校	大学間	2010. 7.15
スウェーデン王国	チャルマーシュ工科大学 リンシェーピング大学	2002.12.19 2009.11.26	2009.11.16
チェコ共和国	チェコ工科大学	1992. 7. 1	
ドイツ連邦共和国	ハイネリヒ・ハイネ大学 (デュッセルドルフ) 有機化学及び高分子化学研究所 ドルトムント工科大学 生物化学・化学工学部 カールスルーエ工科大学 フライブルク大学 工学部・工学研究科 フライブルク大学 マイクロシステム工学部・工学研究科 (アメリカ合衆国・ミシガン大学を含めた3大学間協定)	2002. 5.17 2002.12.18 2004. 3.22 2004.10.30	2002. 7.29 2003. 3.28 2006. 1.30
ノルウェー王国	ノルウェー科学技術大学	1990. 9. 1	
フランス共和国	グルノーブル理工科大学 国立パリ建築大学ラ・ヴィレット校 ピエール・マリー・キュリー大学 (パリ第6大学) レンヌ第一大学 SPM・ESIR レンヌ第一大学 IUT de Lannion 地球物理学パリ研究所	1991.11.18 2016. 3.24 1992.11.10 2016. 3.10 2013.12. 5	1999. 6.23 2017. 6.22 2016. 3.11 2016. 3.21
ポーランド共和国	AGH科学技術大学	2015. 1. 8	
ロシア連邦	ロシア科学アカデミー ベルナツキ地球化学・分析化学研究所	2013. 8.26	
合計 (24カ国・地域)	49機関		

※協定の有効期間は、締結年月日より5年間です(一部例外あり)。詳細につきましては、下記にお問い合わせください。

学術交流協定-研究・国際支援掛(090gkokkyo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) 学生交流協定-留学生掛(090kryugakusei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

新工学教育プログラム

■特色ある大学教育支援プログラム

「コアリションによる工学教育の相乗的改革」に協力 平成16年度～

大学の世界展開力強化事業

■強靱な国づくりを担う国際人育成のための中核拠点 平成23年度～

博士課程教育
リーディングプログラム

■グローバル生存学大学院連携プログラム 平成24年度～

■デザイン学大学院連携プログラム 平成24年度～

■充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム 平成24年度～

卓越大学院プログラム

■先端光・電子デバイス創成学 平成31年度～



キックオフシンポジウム



学生によるポスター発表会(キックオフシンポジウム)

寄附講座

■災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座 平成25年度～

■非鉄製錬学講座 平成29年度～

■優しい地球環境を実現する先端電気機器工学講座 平成29年度～

産学共同講座

■インフラ先端技術産学共同講座(旧:インフラ先端技術共同研究講座) 平成26年度～

■プロトニックセラミックス産学共同講座(旧:PCFC共同研究講座) 平成27年度～

■フロー型エネルギー貯蔵研究講座 平成28年度～

■進化型機械システム技術産学共同講座(三菱電機) 平成31年度～

次世代人材育成事業
グローバルサイエンスキャンパス

■科学体系と創造性がクロスする知的卓越人材育成プログラム 平成26年度～

他部局連携・大型プロジェクト
(年間予算額 1 億円以上)

■国家課題対応型研究開発推進事業元素戦略プロジェクト(研究拠点形成型)

実験と理論計算科学のインタープレイによる触媒・電池の元素戦略研究拠点 平成24年度～

構造材料元素戦略研究拠点 平成24年度～

■SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)第2期

光・量子を活用したSociety5.0実現化技術 平成30年度～

■戦略的創造研究推進事業ERATO

ニューロ分子技術プロジェクト 平成30年度～

13. 工学部公開講座・オープンセミナー

「ひと・社会・工学－工学のいまを知る－」をメインテーマとして、毎年一般市民の方々を対象にした「公開講座」と、中学生・高校生を対象にした「オープンセミナー」を開催しています。



2019年度	エネルギーと機械－ワットから250年、アポロ11号から50年などの歴史もふまえて－	吉田 英生
	まぼろしの巨塔を復元する－法勝寺八角九重塔はどのような姿だったのか－	富島 義幸
	AIで見る	西野 恒
2018年度	街角でのヒューマンロボットインタラクション	神田 崇行
	再生可能エネルギーをためる蓄電池－現状と将来展望－	安部 武志
	環境工学の挑戦～生命を衛る水とトイレの話～	清水 芳久
2017年度	超巨大地震に備える－鉄骨造建物の最新の取組－	聲高 裕治
	昆虫の羽ばたき飛翔の流体力学モデル	稲室 隆二
	ピンを操る～スピントロニクス事始め～	白石 誠司
2016年度	気候変動による降水の変化と洪水・氾濫の予測	立川 康人
	化学現象の論理 ※1	佐藤 啓文
	19～20世紀にかけての化学と物理 電磁波や放射線が明らかにするもの ※2	関 修平
	地震は予測できるか？－全球測位衛星システムのビッグデータ解析最前線－	梅野 健
	火災に強い木造建築を造る	原田 和典
2015年度	高機能エレクトロニクスとEシステム・インテグリティ	和田 修己
	地下を拓くトンネル技術の役割と進歩－	朝倉 俊弘
	脳をよみ、脳をつくる	石井 信
	高温プラズマと核融合エネルギー研究の進展	福山 淳
2014年度	地域居住文化と省エネ住宅デザイン	高田 光雄
	ことばと知識とコンピュータ	黒橋 禎夫
	自然に学ぶナノテクノロジー	平尾 一之
	リチウムイオン蓄電池反応解析の最前線	松原英一郎
2013年度	都市防災シミュレーションの最前線	後藤 仁志
	巨大地震に備える	荒木 慶一
	ビッグデータの検索と分析	田中 克己
	高分子の魅力－新しい構造が生み出す革新機能－	辻井 敬亘
2012年度	情報、通信、そしてエネルギーを支える半導体－超低損失パワー半導体デバイス実現に向けた挑戦－	須田 淳
	これからの自動車”Automobile in the Future”	塩路 昌宏
	確率統計からの情報学－デジタルを支えるアナログ	田中 利幸
	廃棄物からエネルギーを回収しよう！	高岡 昌輝
2011年度	一つ一つの分子を見る、触る－分子ナノテクノロジー－	松田 健児
	生物と電気と数学と～数理のメガネを通して生命システムを見る～	土居 伸二
	3Dオーディオの最前線	伊勢 史郎
	エンジンの今とこれから	石山 拓二

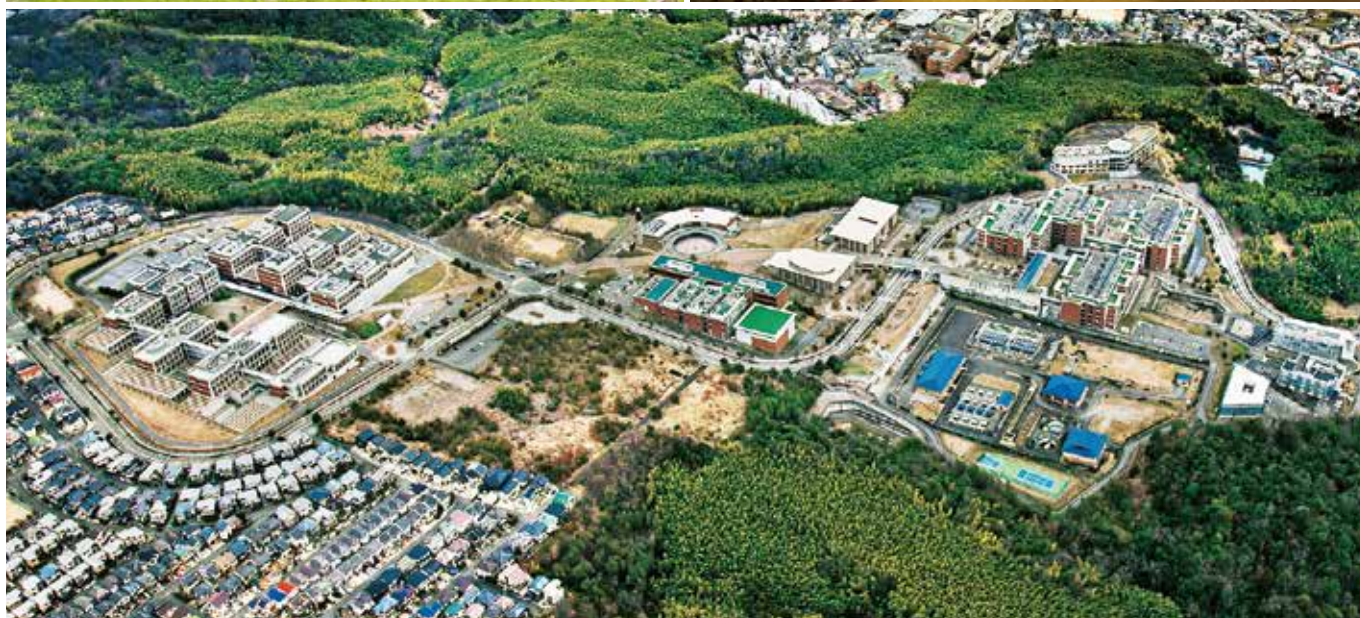
※ 1: 公開講座のみ

※ 2: オープンセミナーのみ

蔵書統計

2019年5月1日現在

図書室名等		図書(冊数)			雑誌(タイトル数)		
		和書	洋書	合計	和書	洋書	合計
1	共通・化学系(附属図書館配架分)	461	10,055	10,516	68	439	507
2	地球系図書室	23,098	34,210	57,308	1,002	992	1,994
3	建築系図書室	72,277	30,596	102,873	844	415	1,259
4	物理系図書室	22,391	53,541	75,932	322	880	1,202
5	電気系図書室	24,292	26,693	50,985	960	674	1,634
6	化学系図書室	8,679	26,184	34,863	84	362	446
合 計		151,198	181,279	332,477	3,280	3,762	7,042



15. 予算関係及び建物面積

1. 予算額

区 分	平成 28 年度 (千円)	平成 29 年度 (千円)	平成 30 年度 (千円)	備 考
人件費	5,796,942	5,460,001	5,440,481	
物件費	1,868,212	1,836,314	1,851,025	
受託研究費(受入額)	3,100,530	2,346,682	3,026,575	
共同研究費(受入額)	695,710	640,392	663,277	
奨学寄附金(受入額)	427,058	355,432	382,144	
学術指導(受入額)	20,675	33,485	45,646	
科学研究費助成事業(受入額)	2,561,599	2,432,064	2,196,136	
その他補助金(受入額)	114,112	72,401	164,010	
その他の大型プロジェクト(受入額)	787,550	765,351	792,000	他部局と連携した大型プロジェクト等

2. 建物面積

区 分	面積 (㎡)
① 吉田地区	
岡田記念館	240
電気総合館	1,843
物理系校舎	16,041
建築学科製図室	252
工学部総合校舎	4,816
総合研究実験棟	113
総合研究 3 号館	426
総合研究 4 号館	2,992
総合研究 5 号館	593
総合研究 8 号館	3,541
総合研究 9 号館 (北棟)	4,613
総合研究 9 号館 (南棟)	1,367
総合研究 9 号館 (旧電気工学教室本館)	3,910
総合研究 14 号館 (旧土木工学教室本館)	484
その他	126
小 計	41,357

区 分	面積 (㎡)
② 桂地区	
A クラスター A 1 棟	11,631
A クラスター A 2 棟	9,409
A クラスター A 3 棟	8,451
A クラスター A 4 棟	9,729
C クラスター C 1 棟	25,736
C クラスター C 2 棟	8,738
C クラスター C 3 棟	28,262
極低温センター	378
実験排水処理施設	63
EMセンター棟	2,803
桂インテックセンター棟	6,328
事務管理棟	4,695
C クラスター事務棟	295
イノベーションプラザ	2,775
その他	155
小 計	119,448

③ 宇治・大津地区	
原子核工学実験室	2,568
超空気力学実験装置室	670
航空工学科風洞実験室	817
総合研究実験 1 号棟	2,056
附属流域圏総合環境質研究センター 水質汚染制御実験室	789
附属流域圏総合環境質研究センター研究棟	500
小 計	7,400
合 計 (①+②+③)	168,205



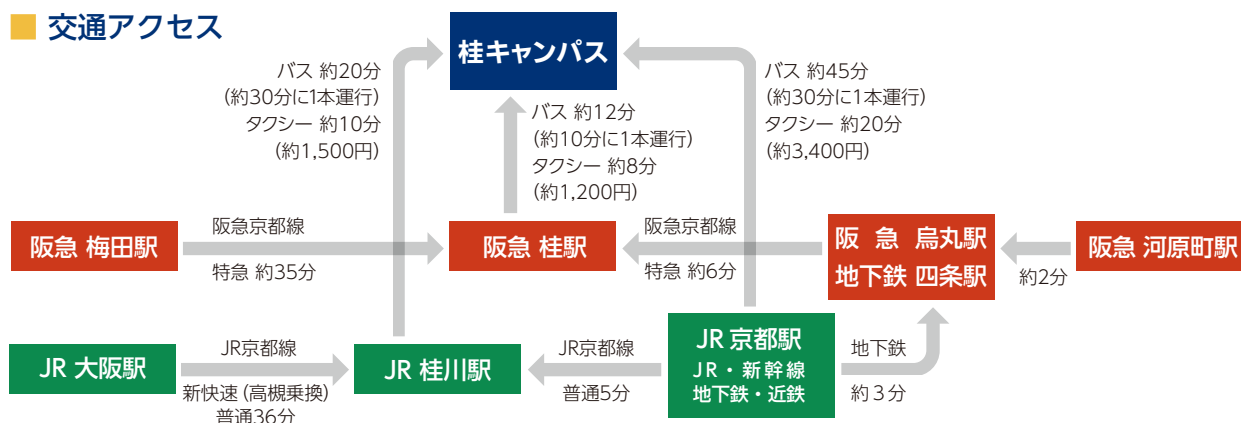
Bクラスター 事務管理棟



▼ 周辺マップ



交通アクセス





2019年度版

京都大学大学院工学研究科・工学部 概要

【編集・発行】

京都大学桂地区(工学研究科) 事務部 総務課企画広報掛

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

Tel. 075-383-2010 <http://www.t.kyoto-u.ac.jp/>

